

2018-2019

## Weekly Bulletin of KAKOGAWA CHUO R.C.

●R.I.会長/バリー・ラシン ●地区ガバナー/矢野 宗司  
●会長/松本 浩一 ●幹事/宮本 鹿司夫 ●クラブ会報委員長/羽原 正善  
●事務局/〒675-0064 加古川市加古川町溝之口 800 番地 加古川商工会議所会 5F

TEL 079-421-5152 FAX 079-421-5559 E-mail info@kakogawa-chuo-rotary.club インスピレーションになるう



第 2143 号

平成30年 9月 20日 (木) No 11

卓話：石野 和也会員



★ 会長挨拶



★ 石野 和也会員



★ 兵庫県立東播工業高等学校先生方

### 会長の時間

会長 松本 浩一

#### 我慢と忍耐

本日は私の職業奉仕のテーマのひとつである経営者の心得をお話させていただきます。

測りのインダの社長（現会長）石田隆一氏から経営者の心得を伺いました。京都に本社があるインダは計測器として世界的にも測りの大和とシェアを二分する有力企業です。

以下三つの言葉を頂きました。

- 1、苦しい時ほどニコニコする。
- 2、負け戦と思った時から負け始める。
- 3、冷静にキズを見つめられる人間は生き残る。

つまり、あわてず、騒がず、淡々と、どんな時でもドンと心が座って明るく生きることが大事ということを教わりました。

我慢と忍耐は似て非なる言葉です。

人間の我慢には限界があります。我慢強いことはいい意味で大事なことです、我慢することによって、大事件になり、悲劇を重ねる結果となることもあります。

一方、忍耐ですが、「忍」という字は本来「ごんべん」がつくそうです。即ち、認めるという意味が基本的に含まれているそうです。忍耐とは額に汗してじっと耐えるという消極的なことではなく、目の前で起っているあらゆる事象を全て認め、受け入れ、立ち向かって行くという積極的な心の性質、心の習慣のことをいうのです。

私達は目の前で起る「つらいこと」「誤ち」を素直に認めることは、なかなかできません。人間は苦しいことに直面すると、自分だけが苦しくて、周りの人は恵まれていると考えがちです。

しかし、お釈迦様は自分自身に起っている悩み、苦しみは、全ての人間にも共通して生じ、早かれ遅かれ、誰もが必ず避けて通れない煩惱であると教えてくれます。

問題解決の秘訣は「心の持ち方」にあります。どのような「心の持ち方」の人になるのがいいのかといえば「楽道家」であると思います。ここでいう楽道家とはのんびり・ノーマンな人ではありません。どのような状態に置かれても希望を捨てずに悲観的にならず「必ずうまく行く」と信じて前向きに、忍耐強く進む人のことをいいます。

私達の周囲にも、思い当たる人がたくさんいます。困難があっても顔に出さず、愚痴を言わず、いつも明るい笑顔で声も大きく、「あの人の傍に行ったら、とても勇気と力がもらえる」と思われるような人です。

人間の最も驚くべき特性のひとつは、マイナスをプラスに変える力である。

(アルフレッド・アドラー)